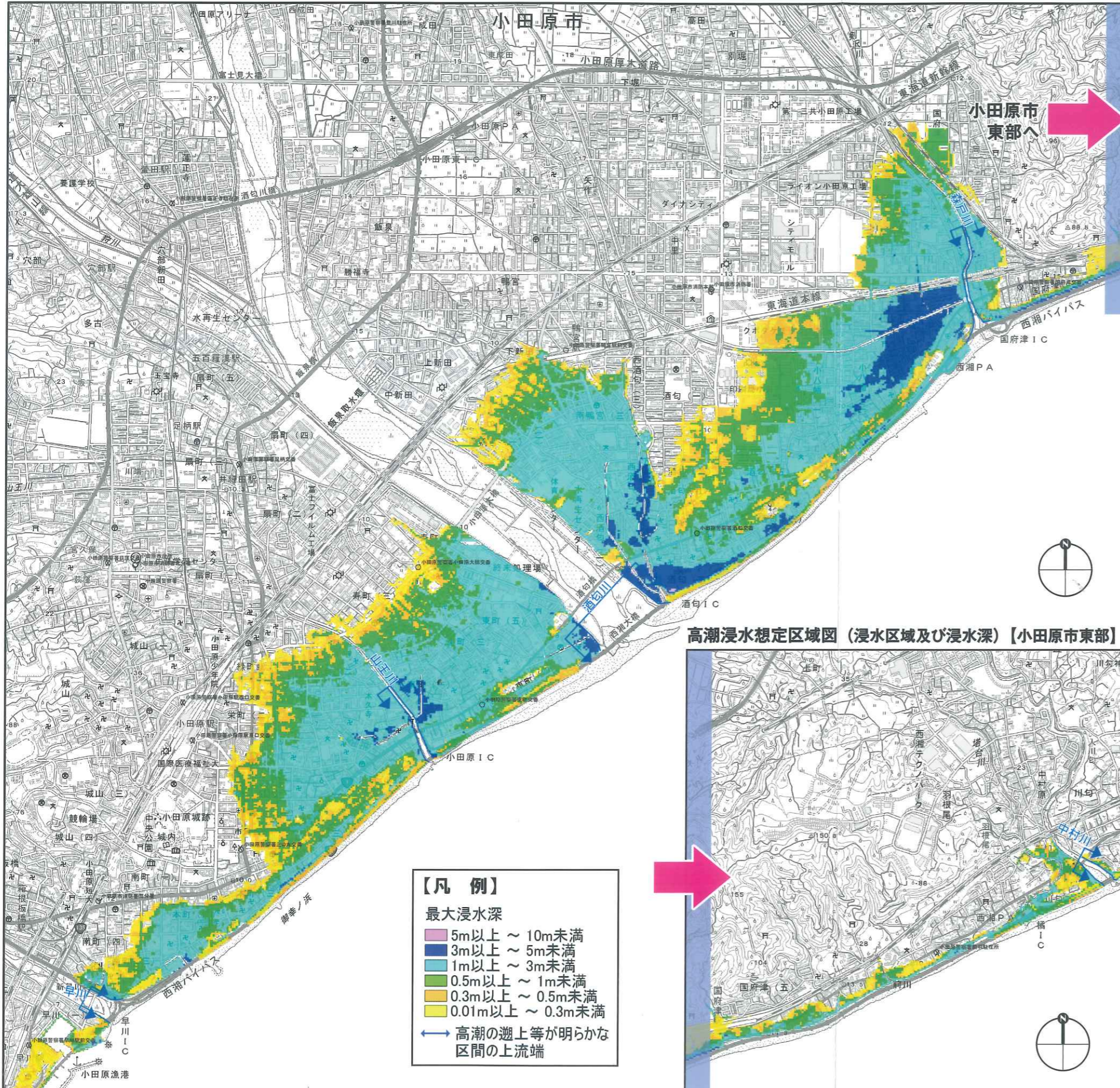


# 高潮浸水想定区域図 (浸水区域及び浸水深)

発行：小田原市防災対策課  
電話：0465-33-1855



高潮浸水想定区域図 (浸水区域及び浸水深) 【小田原市東部】



- 【凡例】**
- 最大浸水深
- 5m以上 ~ 10m未満
  - 3m以上 ~ 5m未満
  - 1m以上 ~ 3m未満
  - 0.5m以上 ~ 1m未満
  - 0.3m以上 ~ 0.5m未満
  - 0.01m以上 ~ 0.3m未満
- ← 高潮の遡上等が明らかな区間の上流端

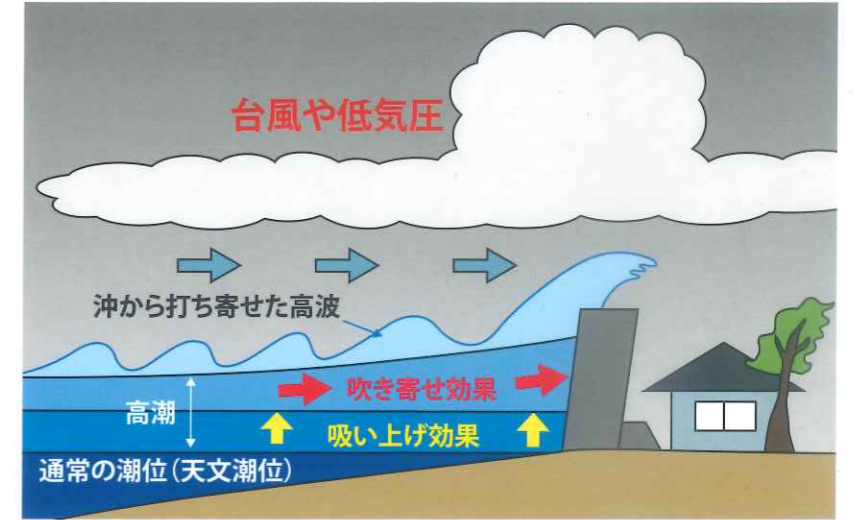
## 1 高潮浸水想定区域とは

神奈川県では水防法の規定に基づき、想定し得る最大規模の高潮に対する避難体制等の充実・強化を図るため、平成30年から高潮浸水想定区域の指定へ向けた検討を進めておりましたが、平成31年4月に指定した東京湾沿岸に引き続き、令和3年8月に相模灘沿岸においても高潮浸水想定区域を指定しました。

## 2 高潮とは

台風や発達した低気圧が通過する際、海面(潮位)が大きく上昇する現象です。高潮は主に、①気圧の低下による吸い上げ、②風による吹き寄せにより発生します。

【高潮のイメージ図】



## 3 想定台風の規模

項目	想定値	想定する台風
中心気圧	大気圧の低下に伴い、海面が上昇する 910hPa	室戸台風(1934年)
最大旋衡風速半径	半径が大きいほど、潮位上昇が広範囲に及ぶ 75km	伊勢湾台風(1959年)
移動速度	移動速度が速いほど、風速が増大し潮位が上昇する 73km/h	伊勢湾台風(1959年)
	移動速度が遅いほど、影響を受ける時間が長くなり、波が高くなる 20、30、50 km/h	相模灘沿岸で被害が発生した台風

※最大旋衡風速半径とは、台風の中心から台風の周辺で風速が最大となる地点までの距離

## 【用語の解説】

浸水区域：高潮や高波に伴う越波・越流によって浸水が想定される区域  
浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ

